

泉福寺所蔵板碑(せんぶくじ しょぞういたび)

板橋区登録有形文化財(考古資料) 平成22年3月25日登録

泉福寺は、東側に隣接する大堂の暦応3年(1340)の銘を持つ銅鐘(国重要美術品・区登録文化財)にその名が記されており、創建はそれ以前に遡ると考えられます。

板碑は、13世紀半ばから16世紀後半にかけて造られた石製供養塔婆の一つで、表面に梵字や図像で表された仏菩薩、年号、造立趣旨などが刻まれています。

泉福寺所蔵板碑は18点を数え、そのうちの12点に年号が認められます。それらを列挙すると、弘安9年(1286)、正和4年(1315)、文保元年(1317)、正慶元年(1332)、建武2年(1335)、暦応2年(1339)、永徳2年(1382)、永徳4年、至徳2年(1385)、応永2年(1395)、宝徳元年(1449)、文亀3年(1503)で、「志村延命寺板碑群」(区登録文化財)と同様、比較的古い年代のものが多く含まれています。

これらの資料は、泉福寺の歴史を伝える遺物であり、赤塚地域、及び区の中世の歴史を解明するうえで重要な資料です。

(*境内には写真のように12点が建ち並んでいます)



所在地：板橋区赤塚 6-39-7 (泉福寺)

交通：東武東上線「下赤塚」駅徒歩 15 分

東京メトロ有楽町・副都心線「地下鉄赤塚」駅徒歩 16 分

都営三田線「新高島平」駅徒歩 21 分

国際興業バス「赤塚庁舎」徒歩 2 分 [成増駅北口⇄赤羽駅西口 (赤 02)]